

協 議 会 議 事 録				
会議名	平成 25 年度 第 4 回江田島市公共交通協議会			
日 時	平成 25 年 12 月 3 日 (火) 14:30~15:25			
場 所	江田島市役所 2 階会議室			
出席者	県立広島大学	名誉教授	の  はら  けんいち 野原  建一	○
	広島商船高等専門学校	教 授	おかやま  まさと 岡山  正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役	はすだ  つとむ 蓮田  勉	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	すぎい  くみお 杉井  公美雄	○
	広島県旅客船協会	会 長	に  った  いちろう 仁田  一郎	×
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	たにぐち  みのる 谷口  実	○
	広島県タクシー協会 江能支部	支部長	いまみや  こうじ 今宮  浩二	○
	江田島市自治会連合会	会 長	おがた  けんそう 小方  憲三	○
	江田島市老人クラブ 連合会	会 長	なかもと  のぶこ 中元  信子	○
	江田島市社会福祉協議会	会 長	おおつ  かつひこ 大津  克彦	○
	江田島市女性会連合会	会 長	おかだ  れいこ 岡田  鈴子	○
	江田島市観光協会	会 長	いとう  ふみお 伊藤  富美雄	×
	中国運輸局海事振興部 旅客課	課 長	おかざき  えいじ 岡崎  英治	代理出席 近藤  忠義
	中国運輸局広島運輸 支局	首席運輸企画専 門官	ふじもと  かずのり 藤元  一則	×
	広島県地域政策局 地域政策総務課	課長兼政策監	どい  つかさ 土井  司	代理出席 藤井  剛
	江田島警察署	地域交通課長	ひら  のりたか 平  徳隆	○
	市議会交通問題調査 特別委員会			
	江田島市	副市長	しょうい  よしあき 正井  嘉明	○
	江田島市	総務部長	どて  さんせい 土手  三生	○
江田島市	土木建築部長	はこだ  のぶひろ 箱田  伸洋	○	

1 開 会	
事 務 局	開会宣言
2 会長あいさつ	
会 長	あいさつ
3 議長の選任について	
事 務 局	野原委員を議長に選任
4 協 議	
(1) 西能美航路の再々編について	
事 務 局	－資料により説明－
議 長	事務局から「西能美航路の再々編について」説明をいただいた。前回の説明会から市営船の継続、企業局への経営努力を求める意見がある訳でございますが、民営化への不安、公設民営・民営化を支持する意見と色々あるようです。今回は事務局から完全民営化にしてはどうかと案が出された関係か、民営化への意見は少ないようです。まずは企業局から意見を賜りたいと思います。
企業局交通課	私どもは地方公務員の立場でありますので、協議会での方針を尊重する構えであります。協議会でハッキリとした意見を出していただきたいです。
議 長	では、前回の協議会から引き続きまして、ご意見を賜りたいと思います。
委 員	色々な意見が出ているようですが、民営化については抵抗が強いと見受けられます。前回の方針では民営化で話を進めていきたいということでしたが、住民説明会の意見を踏まえ、公設民営を中心に協議をしてはいかがでしょうか。
議 長	委員から公設民営について、皆さまからご意見を伺ってはどうかという意見を賜りました。地域の方々がどう考えているか意見をいただきたいと思います。色々困難な面はありますが、そろそろ決断も必要と考えます。地域の代表といたしまして、意見を頂けますでしょうか。
委 員	各地域で住民説明会を開催して頂きました。その状況については、資料にありますとおりなのでご覧いただければと思います。特に能美町では、多くの厳しい意見があったと思っております。事務局では把握していると思っております。厳しい意見の根元は、どうにかして島にとってもっとも重要な航路インフラについて、いつまで続くのか、いつ無くなるのかという不安から色々な意見が出されていると思っております。島の生命線である航路につきまして、そのような観点から前回私

	<p>が申し上げたのが、航路を永久に存続、サービス基準を上回る便数、料金について高齢化が進み年金生活者が増加した島で 1 回広島市を往復するだけで 2,500 円もかかる状況の中で値上げは耐えられないということでございます。運賃については、上げるようなことはしない。不可能なこととは考えますが、ワンコインで行けるようなことを検討していただけないかという声も聞いています。従いましてこの 3 つの点について、行政でキッチリ担保して、行政の責務として対応していただくことが、住民の不安をなくすと考えます。経営の方法は 3 つが担保できる適切な方法をとって頂きたい。航路が無くなる、いつまで続くという不安が、住民の一番大きな不満として出てきています。</p>
議長	<p>前回も述べられ、今回の述べられました航路を永久に存続、サービス基準を上回る便数、料金を上げないという 3 点が担保できれば、運航形態にはこだわらないということでご議論を進めていただきたいという意見でございました。高齢者の問題については、重要な課題である運賃等がございますが、他の住民代表の委員さんはいかがでしょう。</p>
委員	<p>よくわからない点がありますが、大柿会場の参加者が少ないように思います。大柿町の飛渡瀬は東の航路を利用すると思いますが、大柿町の他の地域はこちらの航路を利用していると思います。行政として存続してほしい希望はありますが、委員と同じくお互いが協力して航路を存続してほしい思いです。</p>
委員	<p>議長の方で 3 点が担保できれば、運航形態にはこだわらないと言われましたが、完全民営化では江田島市が関与するといえども法律上の制約がありますので担保しづらいと考えます。市営船継続では更なる経営改善ができる、5 千万円の赤字を減らす方法があるのではないかとこのことを模索してみるとということもありますが、個人的な意見としては、行政として 3 点を担保できるのは、公設民営が適切と思います。</p>
議長	<p>運営の方法は、公設民営が有効ではないかというご指摘がありました。他の住民代表の委員さんはいかがでしょう。</p>
委員	<p>旧町では参加人数を含め温度差があると思います。これだけ協議を重ね、これだけ準備し、話し合い、住民の意見も聞き、前回の協議会では事務局から民営化の意見も出ました。航路を存続するためには、誰が考えても、人口減にもなっている中で市の負担を考えますと公設民営だと思います。民営化への住民の不安もありますし、どの案も一長一短がありますので、第一段階では公設民営にすることが、航路が存続でき、何が市民のためになるかを大前提に考え、行政も努力して頂き、協議会委員の皆さんの意見もお聞きになって話をつめていただければと思います。</p>

議 長	各委員から意見を頂きました。他の住民代表の委員さんはいかがでしょう。
委 員	この案が絶対いいという案はないと思います。住民としては、民営化にして元にもどることは出来ないと思いますので、公設民営にしてはどうかと思います。前回の協議会では民営化なら国から赤字の補助が出るといっていました。公設民営では国から補助が出ますか。それが不安です。
議 長	公設民営では厳しいのではないかとありますが。事務局よろしくお願ひします。
事 務 局	補助金は国でなく県になります。現段階では中町・高田航路は県の補助対象航路になっていません。前回県から説明がありましたが、県内全体の航路を見直す中で、中町・高田航路も見直していると聞いております。こちらが聞いていますのは、公設民営でも、対象航路と認められれば、補助されるということです。間違いないでしょうか。
広 島 県	県は航路補助制度を平成 23 年度に作りましたが、制度ができ、時間が経っていますので見直しを凶っているところです。見直しといいますのは中町・高田航路だけでなく、福山・尾道を含め県内全体を見直していく中で、中町・高田航路についても回答をさせていただきたいと思っています。作業的には検討中ですが、今年度内に結果をだすように作業をしている状況です。
委 員	公なら出ないのですか。
広 島 県	この補助制度は基本的に公と民は関係ありませんが、県単独で補助する制度ではございません。江田島市も補助することになります。適正な運航にもとづいて計算したものを県・江田島市・広島市の関係する機関で協調補助します。直接公と民は関係ありませんが、赤字が多くなると県・江田島市の負担も増えてきます。
議 長	現在県で検討していますということです。公設民営でも対象に成りうるといことで県は検討しているといことでございます。ところで本日協議会では、何回も協議を重ねてきましたので、そろそろ意見をまとめていきたいと考えます。他に何かございせんでしょうか。
委 員	この場では方向付け、ある程度の結論を出していかないとはいけません、民営化・公設民営のいずれかの結論をだすとしても、どこかの会社に引き受けてもらうことになります。その部分がみえない状態でどこが受けられるかわかりませんが、引き受ける会社を市民の声をしっかり受け止める会社にするには、しっかりした意見をまとめる組織や時間をかける必要があると思います。
議 長	どの民営化企業になるかは、重要と思います。その点をご検討くだ



	<p>ただき、住民の方々の満足度が高まる形でまとめてくださるようお願いいたします。それでは、協議会といたしましては、公設民営で取りまとめさせていただきます。ありがとうございました</p>
5 その他	
議長	<p>その他について何かございませんでしょうか。</p>
委員	<p>行政として議会と協議し、市長が判断するとなっておりますが、議会も改選し、協議会と平行して議会に対してもお話をされていると思いますが、年が明けると高校への進学もありますので、できるだけ一定の方向付けができるように、いい意見を入れて進めてもらえばと思います。</p>
会長	<p>貴重なご意見いただきました。議会の方は交通問題調査特別委員会も立ち上げております。協議会の内容につきましては、全員協議会でつぶさに説明をできております。今後は交通問題調査特別委員会で議論になると思います。協議会で出された意見はしっかりとお伝えしながら、本日の方向付けを踏まえて今後進めていきたいと考えております。</p>
委員	<p>民間会社を選ぶ場合は、私達の見るところで選ばれるのでしょうか。事務局だけで選ぶのでしょうか。</p>
議長	<p>事務局にお尋ねします。民間会社を選ぶ場合は、どのような方法で選ばれるのかというご質問であります。</p>
事務局	<p>前回、委員からもありましたが、決定には第三者を入れるとか、そのような工夫ができるかを検討させていただき、なるべくオープンな形で決定するような方向を考えております。</p>
委員	<p>なるべくではなく、見えるところをお願いします。</p>
事務局	<p>承りました。</p>
議長	<p>閉ざされた中ではやらないということをお願いしたいと思います。他に何かございませんでしょうか。その他なければ本日の協議会は閉会とさせていただきます。</p>
6 閉会	